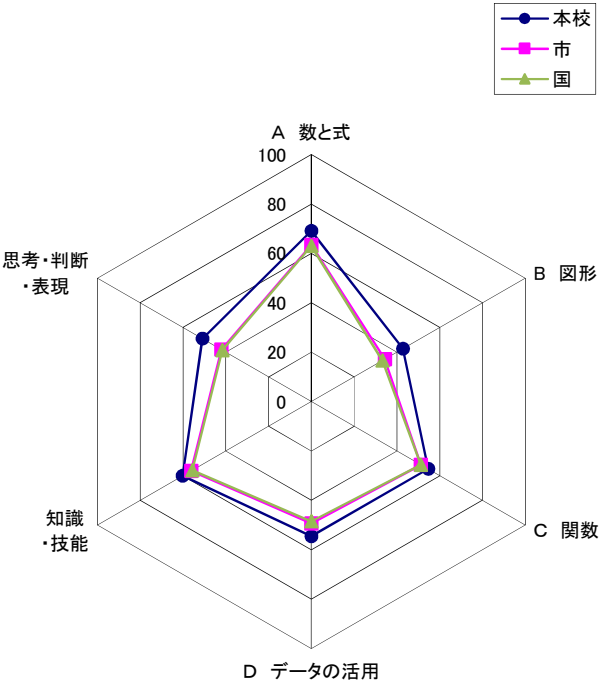


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【数学】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	A 数と式	69.1	63.4	63.0
	B 図形	42.8	34.3	33.2
	C 関数	54.6	51.2	51.2
	D データの活用	54.5	49.4	48.5
観点	知識・技能	60.2	56.2	55.7
	思考・判断・表現	50.9	42.1	41.6
	主体的に学習に取り組む態度			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
A 数と式	○平均正答率は、全国平均を6.1ポイント上回った。数と整式の乗法の計算は、正答率が高かった。 ●自然数を選ぶ問題では、全国平均を5.9ポイント下回った。自然数を、0も含めてしまう間違いが多かった。	・基本的な計算の技能は身に付いているが、より速く正確に計算できるように、反復の機会を設ける。 ・言葉の意味などの知識が不十分のため、間違ってしまうことがあるので、授業等で繰り返し復習し、数学に関する知識の定着を図っていく。
B 図形	○平均正答率は、全国平均を9.6ポイント上回った。 ●空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ問題では、半数以上の生徒が間違えていた。正しい理解ができていなかった。	・図形に関する知識・技能については身に付いてきている。言葉の意味など、授業等で繰り返し復習し、数学に関する知識の定着を図っていく。 ・今後は、さらに筋道を立てて説明する力を高めるために、言語活動をより多く取り入れていく。
C 関数	○平均正答率は、全国平均を3.4ポイント上回った。与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題では、全国平均を6ポイント上回った。 ●反比例の意味を正しく理解できていない生徒が半数以上いた。	・表・グラフ・式の関連性を意識した授業を取り入れ、それぞれの表し方のよさを感じられるようにするとともに、問題にあった表し方を活用できる力を身に付けられるようにする。 ・応用問題を取り入れ、自分の言葉で説明する力を付けるために、言語活動を多く取り入れる。
D データの活用	○平均正答率は、全国平均を6ポイント上回った。四分位範囲を求める問題では、全国平均を13.8ポイント上回った。 ●累積度数の問題では、全国平均を2.1ポイント下回った。累積度数の意味を理解できていない生徒が多かった。 ●箱ひげ図に着目して説明する問題では、半数以上の生徒が間違えていた。箱ひげ図の理解が足りない生徒がいた。	・累積度数の意味、箱ひげ図の読み取り方についての基本的な学習について復習する機会を設ける。 ・日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるような機会を設定する。